スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

香川県 三豊市

自 治 体 名 ： 香川県 三豊市
担 当 課 名 ： スポーツ振興課
電 話 番 号 ： 0875-73-3138

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	222.69 ㎢
人口	57,725 人
公立中学校数	7 校
公立中学校生徒数	1,657 人
部活動数	68 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み

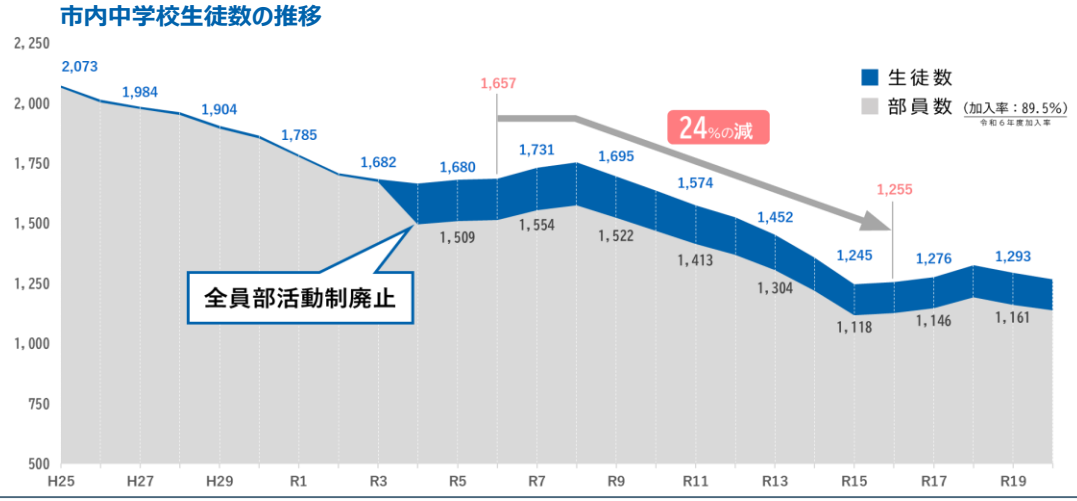
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市には7校の公立中学校があり、1,657人の生徒が、計68の部活動に励んでいます。しかし、少子化の影響で、令和15年度には生徒数が約1,250人に減少すると予測されています。生徒数の減少に伴い、一部の学校では既に廃部が発生し、単独での大会出場が難しいケースも出てきています。活動に対する生徒のモチベーション低下に伴う部活動離れも懸念されます。

また、学校間の距離が平均6.5km以上と離れているため、日常的な合同練習や他校との交流試合が難しい状況です。これは、生徒にとって貴重な経験の場が失われることを意味し、競技力向上や人間関係の構築にも影響を与えます。

こうした課題を踏まえ、本市では「放課後改革」を推進し、子どもたちにより多くの選択肢を提供することを目指します。具体的には、地域クラブの設立を支援し、学校施設の開放や指導者育成など、地域と連携した部活動の運営体制を構築する必要があります。

地域移行には、指導者不足や新たな費用負担などの課題も予想されますが、地域全体で子どもたちの成長を支える体制を構築し、持続可能な部活動環境を実現していきます。

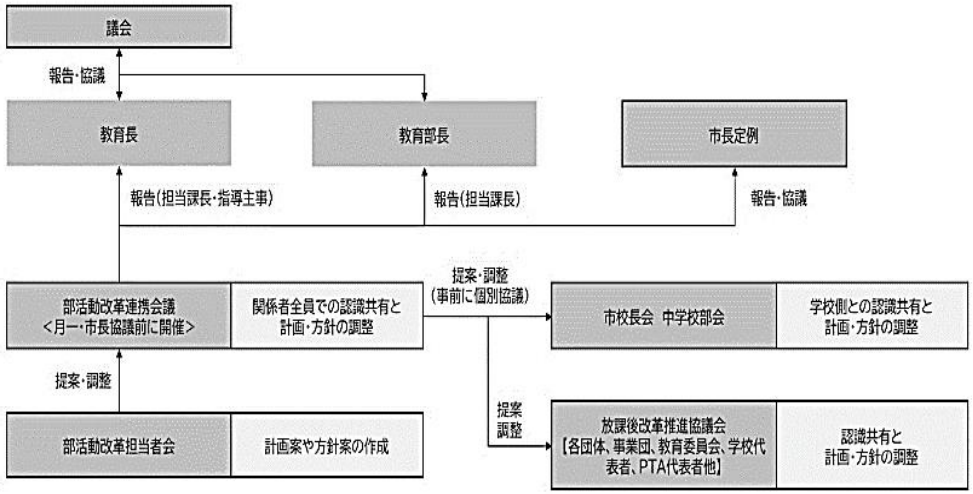


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

部活動改革担当者会（毎週開催）
市教委と三豊市文化・スポーツ振興事業団（以下、ミクスポ）の担当者が集まり、具体的な計画や方針を検討する場です。現場の意見を反映させ、実効性のある改革案を作成します。

部活動改革連携会議（毎月開催）
市教育部長や関係各課の課長、ミクスポ事務局長などが会し、改革に向けた認識を共有し、計画や方針を調整する場です。

市長定例会（毎月開催）
市長が改革の進捗状況を把握し、最終的な決定を行う場です。市全体の視点から改革を推進します。

放課後改革推進協議会（年2回開催）
学校、教育委員会、PTA、地域団体などが参加し、地域全体で子どもたちの放課後活動を充実させるための協議を行う場です。部活動改革もその重要な議題となります。

年間の事業スケジュール

令和6年5月	第1回放課後改革推進協議会
令和6年6月	・第1回地域移行検討会議（市校長会）
令和6年7月	・部活動地域移行に関する保護者説明会（中学校ごとに実施）
令和6年8月	柔道クラブ募集開始
令和6年9月	柔道クラブ活動開始 ソフトテニスクラブ募集開始
令和6年10月	ソフトテニスクラブ活動開始
令和6年11月	第2回地域移行検討会議
令和6年12月	地域指導者養成研修会 部活動顧問意見交換会（運動部6種目）
令和7年1月	2クラブ活動終了
令和7年2月	第2回放課後改革推進協議会
令和7年3月	第3回地域移行検討会議

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	7 校	実施した地域クラブ総数	4 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（ソフトテニス部） 1クラブ（柔道部）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	6 人	全体の運営スタッフ数	6 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
北部ソフトテニスクラブ（男子）	ミクスポ	ソフトテニス	月2回程度（全10回）	9：00～12：00	中学校1・2年生	令和6年10月～令和7年1月	三豊市仁尾公園テニス場	4人	全体で6名	なし	大会参加なし ※県強化練習はクラブで参加
南部ソフトテニスクラブ（男子）				13：30～16：30			三豊市豊中サン・スポーツランド				
女子ソフトテニスクラブ				9：00～12：00							
三豊市柔道クラブ		柔道		9：00～12：00	中学校1～3年生	令和6年9月～令和7年1月	三豊市豊中町体育館	2人			

2.実証内容と成果

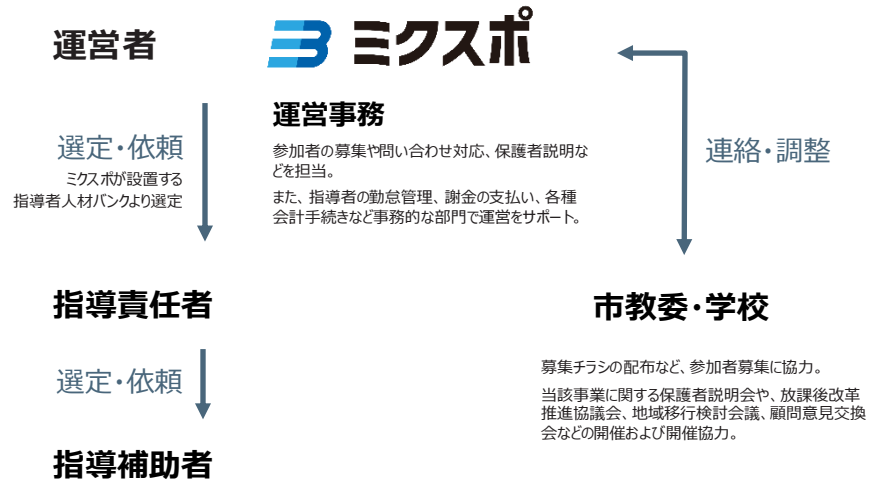
スポーツ庁

主な取組例

●ソフトテニス（男女）クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	ミクスポ （一般社団法人三豊市文化・スポーツ振興事業団）
期間と日数	令和6年10月～令和7年1月 2回／程度 （3クラブに分けて各10回開催）
指導者の主な属性	地域指導者 ・指導責任者：1名（指導資格保有） ・指導補助者：3名
活動場所	三豊市仁尾公園テニス場 三豊市豊中サン・スポーツランド
主な移動手段	保護者送迎もしくは自転車移動
１人あたりの参加会費等（年額）	実証期間につき会費なし
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●指導責任者　1名

参加者への事務連絡、出欠確認、技術指導総括

●指導補助者　3名

技術指導における指導責任者の補助

●運営事務　6名（ミクスポ職員）

学校・教委との連絡調整、参加者の募集事務、指導者の勤怠管理
諸帳票の作成、その他庶務事務

2.実証内容と成果

スポーツ庁

SOFT TENNIS

三豊市放課後改革

三 豊 ソフトテニスクラブ

三豊市が実施する「休日部活動の地域移行に関する実証事業」の一環として、市内中学校１～２年生（ソフトテニス部）を対象に、指導経験豊富な指導者が技術指導を行う休日のクラブ活動を実施します。
なお、本クラブ活動への参加は希望制のため、希望者は下記応募フォームよりご応募ください。

期 間

2024年10月26日 ～ 2025年1月26日（裏面参照）

会 場

- 北部男子　仁尾公園テニス場
  （三野津中，詫間中，仁尾中）
- 南部男子　豊中サン・スポーツランド
  （高瀬中，三豊中，豊中中）
- 女　　子　豊中サン・スポーツランド
  （高瀬中，三豊中，豊中中，詫間中，仁尾中）



応 募

以下のQRコードからご応募ください

・本クラブ活動は、休日部活動の地域移行の実証であるため、本クラブ活動日には学校ごとの部活動は実施されないのでご留意ください。



◀応募フォーム

・応募期限：9月20日(金)
・参加費は無料です。
・応募は必ず保護者の方が行ってください。
・本活動に関しては、運営にてスポーツ安全保険に加入します。

お問い合わせ

ミクスボ
住 所：三豊市豊中町本山甲201-1
電 話：0875-23-7080
メール：info@mitoyofuture.com

指導者紹介

豊嶋 伸幸（JSPO公認スポーツ指導員[ソフトテニスコーチ1]）
（指導実績：高瀬中，三野津中，詫間中，満濃中ソフトテニス部、TeamWAKUソフトテニスクラブ）

大西 秀和（公益財団法人日本ソフトテニス連盟 一級審判員）
（指導実績：三豊中ソフトテニス部、御茶ノ水女子大学体育会軟式庭球部）

西脇 真吾（指導実績：高瀬高校ソフトテニス部）

活動日程

	北部男子（三野津，詫間，仁尾）	南部男子（高瀬，三豊，豊中）	女 子（高瀬，三豊，豊中，詫間，仁尾）
会 場	仁尾公園テニス場	豊中サン・スポーツランド	
10月26日(土)	❶ 9:00 ～ 12:00	❶ 13:30 ～ 16:30	
27日(日)			❶ 9:00 ～ 12:00
11月9日(土)	❷ 9:00 ～ 12:00	❷ 13:30 ～ 16:30	
10日(日)			❷ 9:00 ～ 12:00
30日(土)	❸ 9:00 ～ 12:00	❸ 13:30 ～ 16:30	
12月1日(日)			❸ 9:00 ～ 12:00
7日(土)	❹ 9:00 ～ 12:00	❹ 13:30 ～ 16:30	
8日(日)			❹ 9:00 ～ 12:00
14日(土)	❺ 9:00 ～ 12:00	❺ 13:30 ～ 16:30	
15日(日)			❺ 9:00 ～ 12:00
21日(土)	❻ 9:00 ～ 12:00		❻ 13:30 ～ 16:30
22日(日)		❻ 9:00 ～ 12:00	
1月4日(土)	❼ 9:00 ～ 12:00		❼ 13:30 ～ 16:30
5日(日)		❼ 9:00 ～ 12:00	
11日(土)	❽ 9:00 ～ 12:00		❽ 13:30 ～ 16:30
12日(日)		❽ 9:00 ～ 12:00	
18日(土)	❾ 9:00 ～ 12:00		❾ 13:30 ～ 16:30
19日(日)		❾ 9:00 ～ 12:00	
25日(土)	❿ 9:00 ～ 12:00		⓫ 13:30 ～ 16:30
26日(日)		⓫ 9:00 ～ 12:00	

・雨天中止などにより活動日数が減る可能性がありますが、ご了承ください。
・参加登録された生徒・保護者の方には連絡用アプリ（無料）の登録方法をお知らせします。

2.実証内容と成果

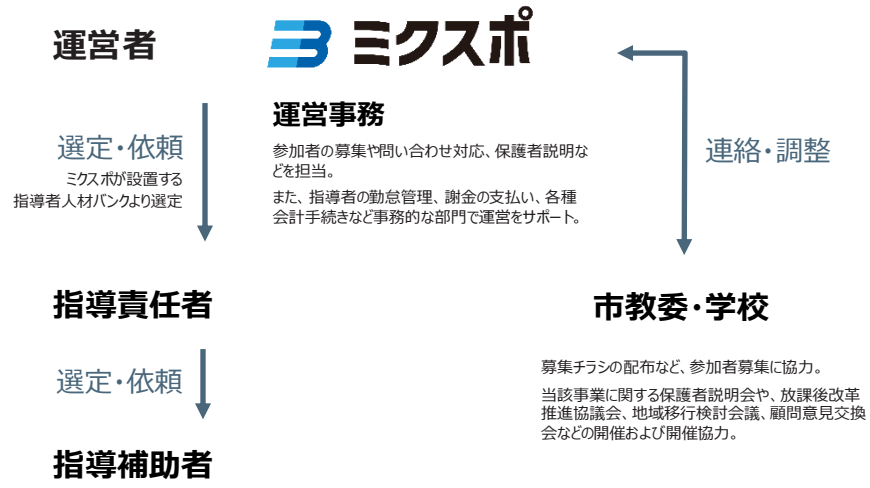
スポーツ庁

主な取組例

●柔道クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	柔道
運営団体名	ミクスポ （一般社団法人三豊市文化・スポーツ振興事業団）
期間と日数	令和6年9月～令和7年1月 2回／程度（全10回開催）
指導者の主な属性	教員（兼職兼業） ・指導責任者：1名（指導資格保有） 地域指導者 ・指導補助者：1名（指導資格保有）
活動場所	三豊市豊中町体育館　武道場
主な移動手段	保護者送迎もしくは自転車移動
１人あたりの参加会費等（年額）	実証期間につき会費なし
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●指導責任者　　1名

参加者への事務連絡、出欠確認、技術指導総括

●指導補助者　　1名

技術指導における指導責任者の補助

●運営事務　　6名（ミクスポ職員）

学校・教委との連絡調整、参加者の募集事務、指導者の勤怠管理
諸帳票の作成、その他庶務事務

2.実証内容と成果


柔道部
実証事業
2024.9.7(土) ～ 2025.1.18(土)
三豊市が実施する「休日部活動の地域移行に関する実証事業」の一環として、市内中学生を対象に日本柔道連盟公認のＡ級指導員が技術指導を行う休日の柔道クラブ活動を実施します。
なお、本クラブ活動への参加は希望制のため、希望者は応募フォームよりご応募ください。
参加費 無 料
会 場 三豊市豊中町体育館２階 武道場
応 募 裏面の QR コードの応募フォームからご応募ください
ミクスポ
公式 Web はコチラ！
ミトヨ部
一般社団法人
三豊市文化・スポーツ振興事業団
三豊市豊中町本山甲 201 番地 1
☎ 0875-23-7080
✉ info@mitoyofuture.com


活動日
1 9月 7日(土) 9：00～12：00
2 9月 28 日(土) 9：00～12：00
3 10月 5日(土) 9：00～12：00
4 10月 12 日(土) 9：00～12：00
5 10月 26 日(土) 9：00～12：00
6 11月 2日(土) 9：00～12：00
7 12月 14 日(土) 9：00～12：00
8 12月 21 日(土) 9：00～12：00
9 1月 11 日(土) 9：00～12：00
10 1月 18 日(土) 9：00～12：00
指導者
長野 秀紀
豊中中 柔道部顧問
日本柔道連盟公認Ａ指導員
大西 悠
豊中中 柔道部外部指導者
日本柔道連盟公認Ｃ指導員
応募方法
ご応募は右記のQRコードよりご応募ください。
なお、本クラブ活動については、休日部活動の地域移行の実証であるため、本クラブ活動日には学校ごとの部活動は実施されないのでご留意ください。
なお、応募は必ず保護者の方が行っていただくようお願いします。
■ 応募期限：2024 年８月９日（金）
▼ 応募フォーム

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

運営団体・実施主体の整備

中学校部活動の地域移行を円滑に進めるため、市が主体となって設立した「ミクスポ」を整備した。 ミクスポは、地域スポーツ振興のノウハウを活かし、地域クラブの設立・運営、指導者の確保、学校との連携など、多岐にわたる役割を担う。

指導者の質の確保・育成

ミクスポは、指導者の確保と質の向上を図るため、「三豊市文化・スポーツ指導員人材バンク」を設置し、人材の発掘を行う。 また、指導者研修会を定期的に開催することで、指導者のスキルアップを支援する。

アプリを利用した連絡体制の構築

円滑な情報伝達のため、連絡用のアプリ「部活動アプリ　クラブマネージャー（アスフィール株式会社）」を導入した。 これにより、練習内容や出欠の確認、緊急連絡などをスムーズに行うことができた。

取組の成果

ミクスポを中心とした運営体制の構築

ミクスポを運営団体・実施主体とすることで、強固な体制を構築し、関係機関との連携強化や円滑な情報共有・意思決定を実現した。また、スピーディかつ柔軟な事業実施も可能となった。

人材バンクの設置・運営

質の高い指導者を確保・育成することで、子どもたちの安全な活動環境を確保し、競技力向上や健全な育成を促進している。人材バンクを活用することで、事業実施に最適な指導者をスムーズに選定することができている。

アプリを利用した連絡体制の構築

連絡体制に関して、大きな問題は発生しなかった。アプリの活用により、保護者・生徒・指導者・事務局間で必要な情報をタイムリーに共有することができ、円滑なクラブ運営に繋がった。

今後の課題と対応方針

地域クラブ設立の促進

現状では地域クラブチームは非常に少ないため、新規にクラブチームを立ち上げやすい環境や支援制度の構築が必要である。

学校との連携強化

地域移行の第一段階として、三豊市ではまず休日のみの地域移行を計画しているため、学校（平日）と地域クラブ（休日）が相互に協力し、子どもたちの成長を支えることができるよう、連携できる体制を構築していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

当法人は、部活動の地域移行における指導者不足の解消に向け、地域における指導者の人材プールを構築するため、「文化・スポーツ指導員人材バンク」を設置し、指導者を広く募集・登録している。

また、年に1～2回、指導者養成研修会を開催することで、指導者のスキルアップや資質向上を支援している。

さらに、人材バンクに登録された指導者と中学校のニーズをマッチングすることで、部活動に関わる地域指導者の増加を図っている。

人材バンクの人数

46名

10代	0名
20代	9名
30代	4名
40代	10名
50代	8名
60代以上	15名

登録者属性

学　生	1名
会社員	13名
教　員	14名
自営業	10名
公務員	5名
無　職	2名
その他	1名

性別

男性	女性
38名	8名

資格の有無

あり	なし
26名	20名

居住地

市内	市外
36名	10名

取組の成果

今年度は指導者養成研修会を1回実施し、 実証事業のクラブにおいては、人材バンク登録者を指導者として起用した。

また、来年度の部活動指導員の任用に向け、中学校に登録者を複数名紹介している。今後も、人材バンクの充実と研修を通じた指導者の育成、そして学校現場への積極的な紹介により、部活動の地域移行を支援していく。



▲ 2024.12.8　指導者養成研修会の様子
元オリンピック陸上選手 荻田大樹氏をはじめ、5名の講師を招き、スポーツ指導におけるハラスメントや安全対策などの研修を実施した。

種目別の登録者数

軟式野球	10名	カヌー	4名
バスケットボール	5名	弓　道	1名
バレーボール	1名	剣　道	1名
ソフトテニス	6名	柔　道	2名
硬式テニス	1名	少林寺拳法	1名
バドミントン	2名	スキー	1名
卓球	3名	吹奏楽	5名
陸上競技	1名	その他	2名

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

部活動の地域移行における生徒の移動手段の確保は重要な課題である。当初、市内の民間交通サービス「mobi」の利用を検討したが、サービス地域や費用面、車両数の問題から断念した。

代わりに、地域クラブへの移動は原則として生徒による自転車移動、もしくは保護者による送迎とした。 しかし、送迎が難しい家庭への配慮も必要となる。そのため、以下の対策を講じた。

・参加しやすい練習会場の設定

どの地域からでも参加しやすいよう、練習会場をできる限り中心部、もしくは南北２か所に設定した。

・公共交通機関の案内

問い合わせに対しては、利用可能なコミュニティバスやJRの便を案内した。

今後の課題と対応方針

保護者説明会や参加者アンケートでは、送迎に関する問題提起はあったものの、件数は想定よりも少なかった。 これは、参加しやすい練習会場の設定や公共交通機関の案内などの効果があったと考えられる。

一方で、「送迎ができないので参加できない」という意見も一定数あり、会場設定や活動時間の設定など、更なる改善が必要である。

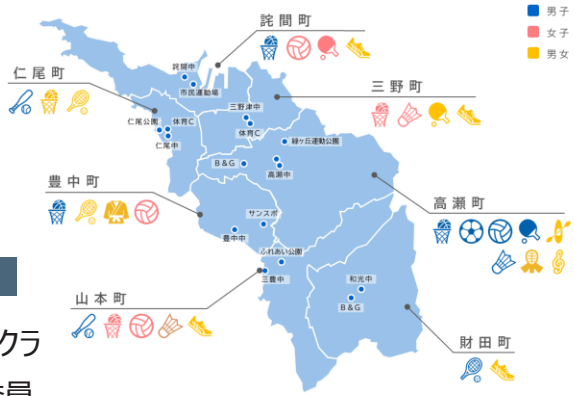
●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

地域クラブの活動場所としての学校施設の利用取り組み今回の実証事業では、実施種目の特性や施設の整備状況、空き状況などの関係上、学校施設を使用しなかった。

しかし、今後地域移行を進めていくにあたっては、学校施設の利用は必要不可欠である。そのため、市教育委員会関係部局と協議を進め、地域クラブが学校施設を利用できるよう方策を検討した。

地域クラブの活動場所のイメージ



今後の課題と対応方針

一定の基準を満たしたクラブが登録できる市教育委員会公認クラブ制度の構築を進めており、当該クラブであれば社会体育施設の使用料の減免を検討している。種目ごとに地域クラブと学校（部活動）の関係性の整理は必要であるものの、地域クラブの公認制度において学校施設の利用についても優遇措置を検討し、それにより、地域クラブの活動場所確保を支援し、学校施設の有効活用を促進する。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本実証事業は、地域の理解・協力体制など、移行にあたっての実務的な課題を洗い出し、持続可能な運営モデルを構築することを主な目的とした。

本市では、実施主体としてミクスポを中核に位置づけ、**市教育委員会・学校・地域団体等と連携した運営体制を整備**。さらに、ミクスポ内に人材バンクを設置し、地域指導者の発掘・登録・育成を通じた指導者確保の仕組みを構築している。

また、連絡調整を円滑に行うためのICTツール（アプリ）も導入し、保護者・生徒・指導者・事務局間の情報共有の円滑化を図った。具体的には、**ソフトテニス（男２・女１）および柔道（男女）の4クラブを設立**し、各クラブ10回程度の活動を計画どおり実施。全クラブで、指導者の配置や活動場所の確保、参加者募集・説明会の開催、保険加入の手続きなどを含む一連の運営業務を円滑に遂行した。

参加者は自転車や保護者送迎により通う形とし、会場の立地や公共交通の案内によって大きな混乱は見られなかった。本実証を通じて、ミクスポを中心とした地域クラブの設立・運営の実現性、及び、地域移行に必要な課題と対応方針の可視化が図られ、今後の本格的な地域移行に向けた基盤を整えることができた。

●成果の評価　※参加者アンケート（自由意見）より

実証事業に参加した保護者・生徒からは、概ね好意的な評価が寄せられた。

良かった点

指導が丁寧で、子どもたちは楽しく参加していたという声が多数あり、「継続してほしい」との要望も見られた。また、他校との交流が刺激になったという意見も多く、活動の広がりが感じられた。

課題・改善点

会場までの距離や保護者の仕事の都合などにより、「送迎が大きな負担だった」「通える場所にしてほしい」との声が多くあった。一方で、距離や時間帯が適していた家庭では問題なく対応できたという意見も一定数見られた。指導方針や活動内容について、保護者との情報共有が少なかったとの意見も見られた。

全体として、一定の成果と手応えがあった一方、**特に送迎や情報共有、活動の継続性**については改善の余地があることが明らかとなった。

●今後に向けて

クラブ数の拡充と支援体制の強化

地域クラブチームの数がまだ少ないため、立ち上げ支援制度や**公認制度の整備**が急務。

また、まだ実証が行えていない主要種目については、早期にモデルクラブを設立し、運営課題や指導者配置の検証を進めることが急務である。

学校との連携強化

地域クラブ（休日）と学校（平日）が連携できる体制づくりが必要。また、今後は学校施設の利用が不可欠であるため、関係部局との協議を進め、利用促進・減免措置等を検討。

送迎・移動支援の具体策検討

参加者の多様な家庭環境に対応するため、移動手段の選択肢や会場配置、開始時間の工夫、地域送迎支援の仕組み検討など、さらなるアクセス改善策を講じる必要がある。

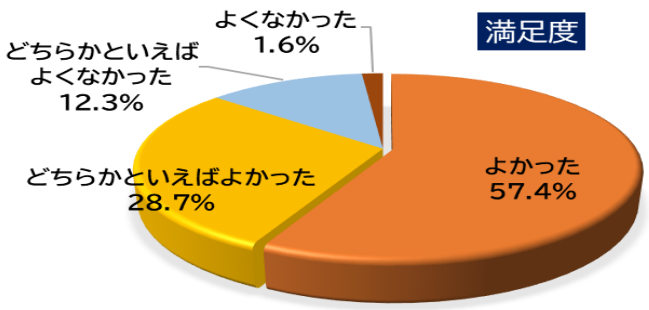
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

- 対象者　　：「柔道部、ソフトテニス部、軟式野球部、吹奏楽部」の生徒、保護者
- アンケート期間：令和７年１月23日（木）から令和７年２月５日（水）
- アンケート方法：Webアンケート
- 回答者数　　：生徒122人（回答率50.2%）、保護者158人（回答率65.0%）

生徒



「よかった、どちらかといえばよかった」の理由（上位３）

- 大勢の人数で活動でき、他校の生徒と交流ができたから（30.5%）
- 専門的な指導が受けられたため（21.9%）
- 指導者が分かりやすく指導してくれたため（19.0%）

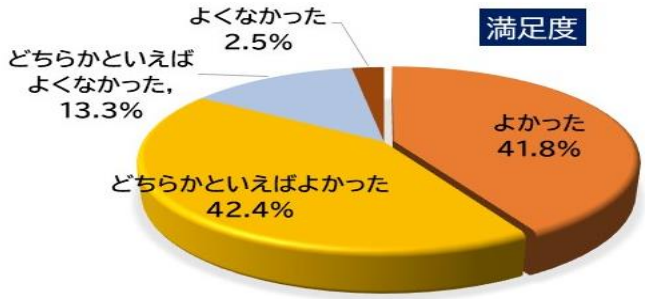
「どちらかといえばよくなかった、よくなかった」の理由（上位３）

- 移動や荷物の運搬などが大変だったから（35.3%）
- 期待していたほど専門的な指導を受けられなかったから（23.5%）
- 他校の生徒と活動することが苦手だったから（23.5%）

参加した理由（上位３）

- 学校で所属している部活動と同じ活動で練習したいから（44.3%）
- 専門的な指導者から指導を受けられるから（21.3%）
- 学校で活動している仲間と参加できるから（19.7%）

保護者



「よかった、どちらかといえばよかった」の理由（上位３）

- 大勢の人数で活動でき、他校の生徒と交流ができたから（37.6%）
- 子どもが参加してよかったと言っていたから（20.3%）
- 専門的な指導が受けられたため、指導者が分かりやすく指導してくれたため（16.5%）

「どちらかといえばよくなかった、よくなかった」の理由（上位３）

- 移動や荷物の運搬などが大変だったから（40.2%）
- その他（自由記述）（28.0%）…単独校で出場できる･経験が減る、練習量が減った、レベルの格差、送迎できない
- 大勢の人数や他校の生徒と活動することが苦手だったから（12.0%）

参加させた理由（上位３）

- 学校で所属している部活動と同じ活動で練習させたいから（55.7%）
- お子様が参加したいと希望したから（22.8%）
- 専門的な指導者から指導を受けられるから（17.1%）

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【ソフトテニス男子北部クラブ】



【ソフトテニス女子クラブ】



【ソフトテニス男子南部クラブ】



【柔道クラブ】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年		令和6年	令和7年	令和8年
文化・スポーツ法人の設置	指導者確保連携体制構築	第１次実証期間	第２次実証期間	第３次実証期間

一社）三豊市文化・スポーツ振興事業団 の設立

市が中心となり、文化・スポーツ活動振興と部活動地域展開を目的とした法人「三豊市文化・スポーツ振興事業団（ミクスポ）」を設立。

行政主体では困難な**スピード感**を持った改革や、地域移行にあたって必須である**民間企業・クラブとの密接な連携**を実現するため、市から独立した団体とした。

スポーツ指導員人材バンクの設立

地域指導者確保のための人材バンクを設置し、指導者研修および中学校等へのマッチングなどを実施。

マッチングにあたっては各学校に対し、制度概要や今後の部活動地域移行の方針を共有し、合意形成を図った。

放課後改革連携会議

三豊市放課後改革の推進に際し、教育委員会および地域部活動の主な担い手であるミクスポとの連携、情報共有を図るため、毎週１回以上、教委関係部署およびミクスポの担当者による担当者会を開催するとともに、月１回程度、関係部署長や市教育部長も参加する連携会議を開催し、進捗の確認や意思統一を図りながら事業を進めている。

放課後活動連絡協議会 設置

三豊市が想定している放課後改革の方針についてスポーツ活動関係者と共有し、**意見徴収するための協議会**を設置予定。

実証事業の実施

ソフトテニス、柔道、吹奏楽について実証を行うとともに、本実証事業とは別の事業として、**野球、バスケ、ダンス**のクラブチーム設立に着手。

分野により、競技人口や指導者数、大会出場の条件が異なるため、それぞれに最適な地域移行の型を模索し、実証・クラブ化を進める。



市クラブ登録制度の設置

地域クラブチームを、市が審査・認定する「三豊市放課後プラットフォーム登録クラブ制度」を設置し、民間主体の地域展開の受け皿づくりを推進する。

登録クラブは公共施設の利用料免除や募集・周知活動への協力などの支援を受けることができる。

実証事業・クラブチーム設置

前年に実証を行ったソフトテニス、柔道、吹奏楽について、回数を増やすとともに、会費の徴収も行い、**地域展開後と同様の形態での実証を行う**（実証期間のため、会費は定額に設定）。

また、新たにバドミントン、剣道の実証事業を開始する。

野球・バスケ・ダンスについては正式に地域クラブを設立し、**会費による独自運営**を行うとともに、各種大会についても、クラブチームでの出場に切り替える。

実証事業・クラブチーム設置

これまで実証を行っていない卓球、陸上、バレー、バスケ（新規クラブは設置したが、既存部活については未着手）の実証を行う。

また、これまで実証を行ってきた分野については、準備が整ったものから地域クラブ化を促進する。

クラブ化および運営・維持についてはミクスポが支援を行うとともに、地域展開にかかる財源確保策として、他自治体と連携して取り組んでいる「放課後共創基金」の実現をめざす。



3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和７年度　地域クラブ活動への移行スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校部活動の主な予定	・中体連クラブ登録 ・部活動編成		（競技ごとに開催～3月） ・地区強化大会	・県吹奏楽コンクール ・県総体 ・地区総体	・四国総体	・四国吹奏楽コンクール ・全国総体	（競技ごとに開催～1月） ・地区・県新人		・地区吹奏楽アンサンブル	・県吹奏楽アンサンブル		
試行期間	▶ 学校部活動					▶ 地域クラブ活動（ソフトテニス・柔道・軟式野球・吹奏楽）【費用負担あり】						
準備期間	▶ 学校部活動					▶ 実証事業：地域クラブ活動【一部の費用負担あり】					▶ 学校部活動	



学校部活動	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度～
陸上競技	学校部活動で活動	準備期間	試行期間	休日：地域クラブ活動 希望制
バレーボール	学校部活動で活動	準備期間	試行期間	
バスケットボール	学校部活動で活動	準備期間	試行期間	
サッカー	学校部活動で活動	準備期間	試行期間	
ソフトテニス	学校部活動 実証事業	試行期間	休日:地域クラブ活動	
バドミントン	学校部活動で活動	準備期間	試行期間	
卓球	学校部活動で活動	準備期間	試行期間	
柔道	学校部活動 実証事業	試行期間	休日:地域クラブ活動	
剣道	学校部活動で活動	準備期間	試行期間	
軟式野球	準備期間	試行期間	休日:地域クラブ活動	
カヌー	学校部活動で活動	準備期間	試行期間	
吹奏楽	学校部活動 実証事業	試行期間	休日:地域クラブ活動	
美術 家庭 科学 パソコン・メディア	学校部活動で活動（基本的に、平日の実施）			

三豊市放課後改革　学校部活動地域移行プラン　令和６年７月

○ 令和７年度の試行期間・準備期間について

- 実証事業の実施種目として２～３種目を検討中。
- 試行期間(地域クラブ活動)の学校部活動は、原則として、平日の活動と平日及び休日の大会・コンクール等への参加とする。
- 実証事業期間の学校部活動の対応は以下の通り。

週休日	土日いずれかに実施する場合：学校部活動は、土日のいずれも実施しない。
	土日のいずれも実施しない場合：学校部活動として活動できる。
祝日	祝日に実施する場合：学校部活動は実施しない。
	祝日に実施しない場合：学校部活動として活動できる。

○ 令和８年度以降について

- 令和８年度の地域移行の予定は令和７年度中に決定。
- 三豊市では、将来的に企業等から出資を受けて、費用の一部を補助するクーポンを配布すること施策も検討中。